

## 誓約書

このたび、西暦 年 月 日(予約番号 )に大阪市立旭区民センターを利用するにあたり、下記の条件を確認し、遵守することを誓約します。なお、下記条件を含め、センター管理運営上支障があると判断された場合、即時利用中止となることに従い、異議申し立て及びこれに伴う損害について裁判上の請求をしません。

【基本的な感染防止策】(施設を利用するにあたって主催者に対応いただきたい事項)

マスクの常時着用を呼びかける。

大声を出さないよう呼びかける。

### 手洗・消毒

施設内の手指の消毒設備(石けんによる手洗い、手指消毒用アルコールなど)を利用する。

他人と共用する物品や手が頻回に触れる箇所を工夫して最低限にすること。

トイレの利用に当たっては施設内の手指の消毒設備(石けんによる手洗い、手指消毒用アルコールなど)を利用する。

トイレの蓋を閉めて汚物を流す。

### 換気

利用している施設の十分な換気を行う。(2つの窓、扉を同時に少し開けるなど)

### 密集の回避

混雑時の入場制限の実施に協力する。

人と人が触れ合わない距離を確保する。

滞在時間が短くなるよう、会議の前後の滞留をなくすように努める。

入退場や区域内の行動確保の対策を行い、入退出時(入退出時の行列含む)や集合場所等の密集を回避する。

(時間差入退場、人員の配置、導線の確保など)

場合によっては、施設側の入場制限等に従う。

休憩スペース利用に当たっては、一度に休憩する人数を減らし、対面で会話をしないようにする。

休憩スペースの常時換気に協力する。

大声での歓声・声援等を発する場合は、異なるグループ、個人間で1席空ける。(席のない場合は十分な間隔(1m))。

施設内での飲食は控える。

### 参加者の制限

入場時に体温チェックを行い、利用日当日に、参加者には検温をして発熱がないかどうか確認する。

発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は来館しないように事前に呼びかける。

### 参加者の把握

感染症発生時に参加者に連絡をとることがあるので、参加者を特定し、連絡がつくよう、国の接触確認アプリ「COCOA」や「大阪コロナ追跡システム」への登録や、名簿作成などに協力する。

万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取り扱いには十分注意し、参加者の情報を把握する。

### イベント前後の行動

密集回避のため、交通機関・飲食店等の分散利用を注意喚起する。

### その他

以上の事項を了承したうえで許可することになるので、諸条件を遵守し、利用する。

自己都合によるキャンセルの場合は通常のキャンセルと同じ取り扱いとなる。

今後の国や府の動向等により、緊急事態措置が変更され、状況によっては、再び臨時休館となり許可取消を行うケースも生じる可能性があることを予め承知し、利用する。

参加者に、感染した場合の重症化リスクが高い高齢者、持病のある方や妊婦がおられる場合には、特に留意する。

**個々のご利用時の留意事項（上記と重複があります。）**

**I 講演会、研修会等**

- 混雑時の入場制限の実施に協力する。
- 人と人とが触れ合わない距離を確保する。
- 講師・演者の発声による飛沫感染対策として、前方席の使用を控えるなどにより、講師・演者と客席の距離（2m）を確保する。
- 滞在時間が短くなるよう、開催前後の滞留をなくすよう工夫する。
- 入退出時(入退出時の行列含む)や集合場所等において人と人との十分な間隔を確保する。
- 適切な換気を行う。
- 利用者同士の大声での会話を行わないよう周知する。

**II 絵画、写真教室等各種教室形式イベント**

- 人と人とが触れ合わない距離を確保する。
- 少人数で滞在時間が短くなるよう工夫する。
- 適切な換気を行う。
- 利用者同士の大声での会話を行わないよう周知する。

**III 各種作品、パネル展示等会場内を回遊するイベント**

- 混雑時の入場制限の実施に協力する。
- 人と人とが触れ合わない距離を確保する。
- 滞在時間が短くなるよう工夫する。
- 入退出時(入退出時の行列含む)や集合場所等において人と人との十分な間隔を確保する。
- 展示配置の工夫や一方通行の設定により、施設内の移動においても人と人との十分な距離を確保する。
- 適切な換気を行う。
- 来場者同士の大声での会話を行わないよう周知する。

**IV コーラスなど歌唱を伴うイベント**

- 来場者は原則着席といただくこと。着席が難しい場合は、人と人とが触れ合わない距離を確保する。
- 飛沫感染防止のため、舞台（演者）と客席の間を2mは確保する、又は透明なアクリル板や透明ビニールカーテン等で遮蔽する。
- 演者間の距離は、講じる防止策（マスク、フェイスシールド、マウスシールド着用等）に応じた適切な対人距離を確保する。例：マスク着用時は前後1m 左右50cm、未着用時は前後2m 左右1m 等
- 演者やその家族の体調・行動管理を行う。
- イベント中、イベントの前後、イベント休憩中に、会場内の十分な換気を行う。
- イベント中の来場者同士の接触は控えるよう周知する。
- 来場者と接触するような演出（声援を惹起する、来場者をステージに上げる、ハイタッチをする等）は行わない。
- 来場者同士の大声での会話を行わないよう周知する。
- 事前に密集状況が発生しないように余裕を持った休憩時間を設定し、トイレなどの混雑の緩和に努める。

**V コンサート・演劇・スポーツイベント等興行事業**

- 業種別ガイドラインに則った対策を行う。

西暦 年 月 日

団体名： .....

住所： .....

代表者氏名(自著)： .....